

平成21年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

小学校 栄養教諭 中学校 栄養教諭

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。

マーク例 (良い例)
 (悪い例)

✓

/

✕

- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
0	0	0	0	0
	1	1	1	1
2		2	2	2
3	3		3	3
4	4	4		4
5	5	5	5	

記入例
(受審番号12345の場合)

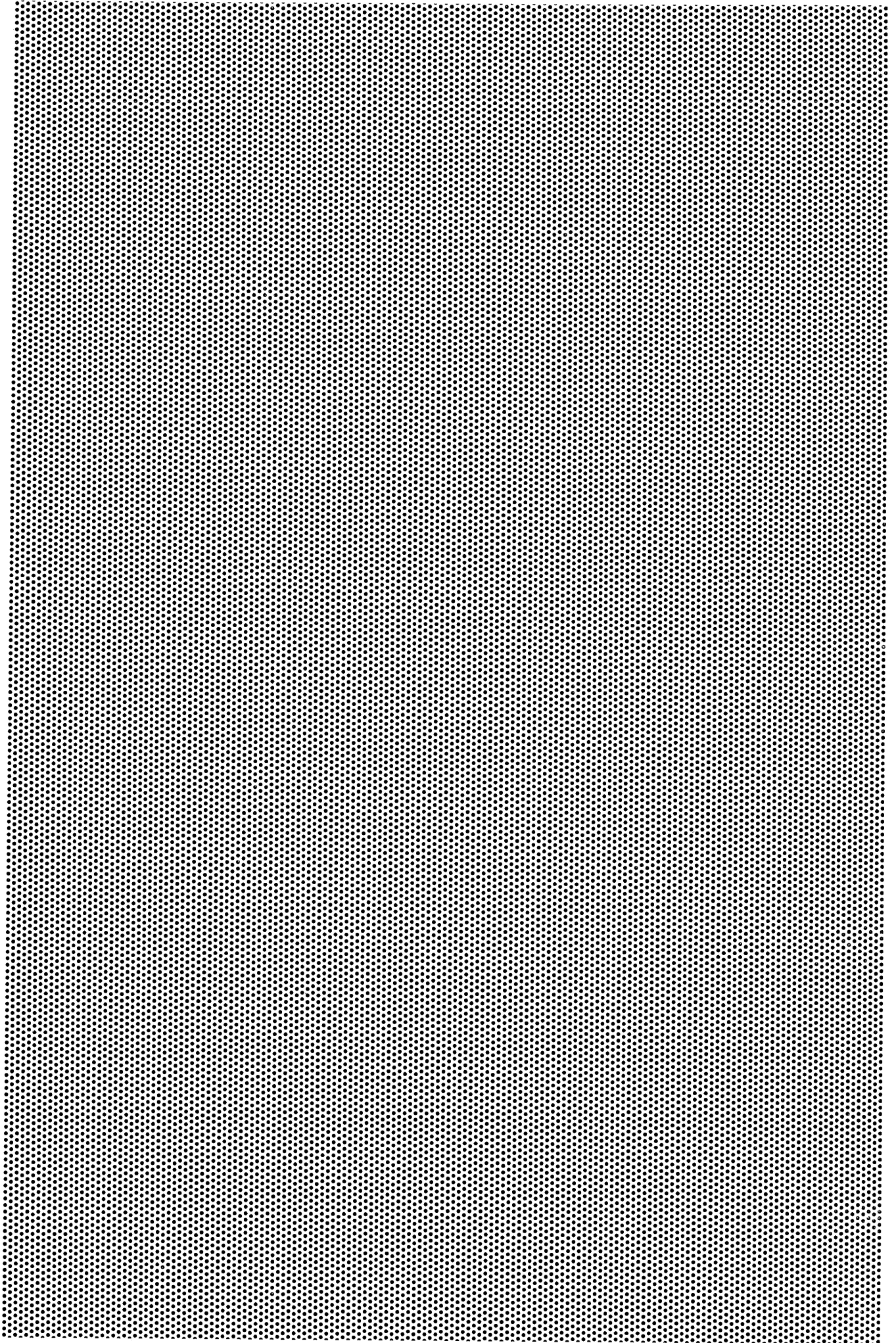
- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄の記号をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対して **b** と解答する場合は、下の（例）のように **アの解答欄の b** をマークしてください。

(例)

ア	a		c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答記号に対しては、解答欄の記号を二つ以上マークしないでください。

- 5 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。受審者は、審査室内のすべての解答用紙（マークシート）が回収された後、監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



第1問 食と健康に関する法や制度について、次の1～9の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「食に関する指導体制の整備について（答申）」の中の栄養教諭の職務に関する記述である。（ ① ）・（ ② ）に該当する語句の正しい組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 ア

栄養教諭は、教育に関する（ ① ）と栄養に関する専門性を併せ持つ職員として、学校給食を生きた（ ② ）として活用した効果的な指導を行うことが期待される。

（ ① ）（ ② ）

- a 理解 教材
- b 専門性 資料
- c 知識 献立
- d 資質 教材
- e 認識 資料

- 2 次の文は、「食に関する指導の手引」（平成19年3月 文部科学省）の中の食に関する指導の目標を記述したものである。（ ① ）・（ ② ）に該当する語句の正しい組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 イ

心身の成長や（ ① ）の保持増進の上で望ましい（ ② ）や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。

（ ① ）（ ② ）

- a 栄養 食物
- b 健康 食物
- c 栄養 献立
- d 健康 栄養
- e 体力 調理

- 3 「食に関する指導の手引」（平成19年3月 文部科学省）の中の学校給食の献立の充実に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ウ

- a 栄養バランスのとれた魅力ある美味しい給食であること。
- b 教科等と関連した献立作成となること。
- c 個に応じた献立よりも全員が喜ぶような献立の工夫を行うこと。
- d 地場産物や郷土食等を活用した献立の工夫を行うこと。
- e 国際理解のための献立の工夫を行うこと。

- 4 次の文は、「食育推進基本計画」（平成18年3月31日 食育推進会議決定）の中の記述である。（ ① ）・（ ② ）に該当する語句の正しい組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 エ

学校における食育の推進のためには、子どもが食について（ ① ）に学ぶことができるよう、各学校において食に関する指導に係る全体的な計画が策定されることが必要であり、これを（ ② ）に促進する。

（ ① ） （ ② ）

- a 自己的 計画的
- b 積極的 計画的
- c 自発的 積極的
- d 計画的 積極的
- e 恒久的 自発的

- 5 学校給食実施状況調査（平成18年5月1日現在 文部科学省）における高知県に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。 オ

- a 学校数による公立中学校の完全給食実施率は全国平均より低い。
- b 学校数による公立小・中学校のミルク給食実施率は全国平均より高い。
- c 学校数による公立中学校の完全給食実施率は37.0%である。
- d 学校数による公立小学校の完全給食実施率は全国最下位である。
- e 学校数による公立小学校の完全給食実施率は74.9%である。

- 6 次の文は、学校給食法第2条の記述である。（ ① ）に該当する語句を、下のa～eから一つ選びなさい。 カ

日常生活における食事について、正しい（ ① ）と望ましい習慣を養うこと。

- a 研究 b 知識 c 自覚 d 理解 e 認識

- 7 次の(1)・(2)の文は、高知県食育推進計画の「取組の目標」の記述である。(①)
・ (②) に該当するものを、それぞれ下の a～e から一つずつ選びなさい。

キ

ク

- (1) 食に関する指導の年間（全体）計画を作成している学校の割合（小学校・中学校）については、現状値（平成18年度）の (①) から目標値（平成23年度）を100%にしている。

a 15% b 30% c 45% d 60% e 75%

- (2) 朝食を必ず食べる児童生徒の割合（小学生の場合）については、現状値（平成18年度）の (②) から目標値（平成23年度）を95%以上にしている。

a 47% b 57% c 67% d 77% e 87%

- 8 次の文は、学校保健法第3条の2の記述である。(①) ・ (②) に該当する語句の正しい組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。 ケ

学校においては、施設及び設備の (①) を適切に行い、必要に応じて (②) する等危険を防止するための措置を講じ、安全な環境の維持を図らなければならない。

(①) (②)

- a 修繕 報告
b 点検 修繕
c 報告 点検
d 修繕 点検
e 点検 報告

- 9 次の文は、食品衛生法第4条の食品添加物に関する記述である。(①) に該当する語句を、下の a～e から一つ選びなさい。 コ

この法律で添加物とは、食品の製造の過程において又は食品の加工若しくは (①) の目的で、食品に添加、混和、浸潤その他の方法によって使用する物をいう。

a 調理 b 保存 c 加熱 d 混合 e 分離

第2問 学校給食の管理について、次の1～9の問いに答えなさい。

1 学校給食衛生管理の基準（施設・設備）に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 学校給食施設・設備については、ねずみ及びはえ、ごきぶり等衛生害虫の発生状況を1ヶ月に1回以上巡回点検すること。
- b 調理室には、ふた付きの残菜入れを備えること。
- c 施設は、検収、保管、下処理、調理、洗浄の作業区域に区分すること。
- d 学校給食従事者専用の便所は、食品を取り扱う場所及び洗浄室から2m以上離れた場所に設けられていること。
- e 学校給食施設・設備は常に清潔で衛生的にすること。なお、調理場は、十分な換気を行い、湿度は80%以下、温度は25℃以下に保つことが望ましい。

2 学校給食衛生管理の基準（食品の検収・保管等）に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 食品の検収室には、食品が直接床面に接触しないよう床面から60cm以上の高さの置台を設けること。
- b あらかじめ検収責任者を定めて、食品の納入に立会し検収を確実に実施すること。
- c 食品は検収室において専用の容器に移し替え、下処理室等にダンボール等を持ち込まないこと。
- d 牛乳については、専用の保冷库等により適切な温度管理を行い、常に新鮮かつ良好なものが飲用に供されるよう品質の保持に努めること。
- e 食肉類、魚介類、野菜類等については、冷蔵庫で保存して、1週間以内に計画的に使用すること。

3 学校給食衛生管理の基準（調理過程）に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 野菜類の使用については、原則として加熱調理すること。
- b 加熱処理する食品については、中心部が70℃で1分間以上又はこれと同等以上の温度まで加熱されていることを確認し、その温度と時間の記録をとること。
- c 生野菜の使用にあたっては、流水で十分洗浄し、必要に応じて消毒するとともに、必ずその日のうちに給食すること。
- d 料理の混ぜ合わせ（和えもの、サラダ等）、配食、盛りつけ等に際しては、必ず清潔な場所で、清潔な器具を使用するとともに、料理に直接手を触れないようにすること。
- e 前日調理は行わないこと。

- 4 最近の学校給食における食中毒の傾向と対策に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 病原性大腸菌O157を原因とした学校給食による食中毒は平成9年度以降は発生していない。
- b 平成17年度において学校給食を原因として発生した食中毒事件は、ノロウイルスによるものが3件、カンピロバクターによるものが1件であり、いずれも、学校給食調理場が原因であった。
- c 平成18年度において学校給食を原因として発生した食中毒事件は、ノロウイルスを原因とするものが5件、ヒスタミンを原因とするものが1件であった。
- d 平成18年度において民間委託の学校給食施設での食中毒は発生していない。
- e 平成18年度においてノロウイルスの二次感染予防対策の不備により被害が拡大した事例が発生した。

- 5 学校給食における食事内容については、平成15年に基本的な考え方が示され、栄養所要量の基準の改訂がなされた。次の(1)・(2)の文の (①) ・ (②) に該当するものを、それぞれ下のa～eから一つずつ選びなさい。

- (1) 食物繊維の所要量は、1日の所要量において摂取エネルギー1000kcal当たり (①) とされているので、各年齢のエネルギー当りに換算して策定した。

a 5 g b 8 g c 10 g d 15 g e 20 g

- (2) カルシウムは、日常の食生活において摂取しにくい実態を考慮しつつ、学校給食の役割を考え、前回とほぼ同様に1日の所要量の (②) とした。

a 33% b 45% c 50% d 55% e 60%

- 6 食品の解凍に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 解凍する場合は、氷結晶生成帯(－1～－5℃)を時間をかけて通過させると品質劣化が少ない。
- b 解凍とは、凍結した食品を調理または食するために凍結前の状態にもどす操作である。
- c 解凍後はできるだけ早く食することが大切である。
- d 緩慢解凍とは、空気、水、氷等を使って食品を解凍する方法である。
- e 急速解凍とは、電子レンジや加熱により食品を解凍する方法である。

7 味の種類に関する記述である。誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 甘味は糖類の示す味覚刺激であり、年齢や民族を超えて好ましい刺激として受容される。
- b 酸味は酸による味覚刺激であり、代謝を促進する有機酸のシグナルと考えられる。
- c 塩から味は食塩の示す味である。好ましいと判断される食塩濃度範囲は狭く、汁物では2%が適切である。
- d うま味は、グルタミン酸、イノシン酸、グアニル酸等の示す味である。
- e 苦味は他の味に比べて低濃度でも感じる事が多く、好みの個人差も大きい。

8 鶏卵についての記述である。誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 鶏卵は、卵殻、卵白、卵黄からなり、必須アミノ酸組成は理想的である。
- b 鶏卵の卵白は、たんぱく質と脂質が結合したリポたんぱく質が主成分である。
- c 鶏卵の卵黄は、マヨネーズソースの油脂の乳化に重要な役割を果たしている。
- d 鶏卵の卵黄が高く盛り上がっていると鮮度がよい。
- e 鶏卵の卵白は、起泡性がケーキのきめに重要な役割を果たしている。

9 ジャガイモについての記述である。誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a ジャガイモの主な栄養成分は炭水化物のでんぷんである。
- b さつまいもと比べて食物繊維は少ない。
- c さつまいもと比べてビタミンCが少ない。
- d ジャガイモには弱毒配糖体のソラニンが含まれている。
- e ジャガイモを切断し、そのまま放置すると切り口が褐変するのは酵素が含まれているからである。

第3問 健康と栄養指導について、次の1～10の問いに答えなさい。

- 1 平成17年度 児童生徒の食生活等実態調査報告書（日本スポーツ振興センター）の結果の概要に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 朝食を「ほとんど食べない」と回答した児童は、平成12年度の調査と比べると小学校全体で0.6%減少した。
- b 夜寝る時刻は、中学校では男子より女子の方が遅く寝る傾向にある。
- c 夜食を「ほとんど毎日食べる」児童生徒は、平成12年度の調査と比べると小学校、中学校ともに減少している。
- d 学校給食で好きな料理の1位は、小学校、中学校ともに「カレーライス」である。
- e 学校給食で嫌いな料理の1位は、小学校、中学校ともに「サラダ」である。

- 2 次の文は、学童期の栄養指導に関する記述である。(①)・(②)に該当する語句の正しい組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

学童期は、運動活動がさかんとなり、エネルギーの食事摂取基準は増加し、筋肉やいろいろな臓器の発達のために、必須アミノ酸を含む(①)をとるように心がける。神経組織や一部のホルモンをつくるのに必要な脂肪、なかでも必須脂肪酸を含む植物性油脂や魚油、代謝が円滑にいくための各種のビタミン類、骨の成長に必要なカルシウム、さかんな造血のための(②)の補給なども大切である。

- | | (①) | (②) |
|---|----------|--------|
| a | 植物性たんぱく質 | 鉄 |
| b | 植物性脂肪 | 亜鉛 |
| c | 動物性脂肪 | マグネシウム |
| d | 動物性たんぱく質 | 鉄 |
| e | 動物性たんぱく質 | 亜鉛 |

- 3 偏食の防止に関する記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 味つけや盛りつけを工夫する。
- b 嫌いな食材でも味がわかるように、大きく切って食べるようにする。
- c 食器などで、楽しい雰囲気 of 食卓づくりをする。
- d 食べたときは、ほめるようにして自信をもたせる。
- e 多種類の食材料を献立に取り入れる。

4 食物アレルギーの食事指導についての記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a アレルゲンとなっている食品を各種テストにより選定する。
- b 栄養状態や成長状態を評価しながら食事療法を進める。
- c 除去食品と同じ食品群から代替食品を選び、活用する。
- d 症状の変化を観察し、除去食品の程度を調節する。
- e 症状の程度にかかわらず栄養状態よりも除去食を優先する。

5 肥満傾向にある児童生徒への肥満指導についての記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a エネルギーの摂取を少なくするが、偏った食品選択をしないように指導する。
- b リバウンドを起こさせないため、短期間に体重を減少させるよう、食事指導をする。
- c 食事記録や体重記録をつけさせる。
- d よく噛んでゆっくり食べることにより、過食しないことを習慣化させる。
- e 欠食や遅い時間の夕食、夜食の摂取を止めるなど、規則正しい食習慣を身に付けさせる。

6 弛緩性便秘の対策に関する記述である。正しいものの組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

- ① 必要十分量を1日3回規則正しく食べることが大切である。
- ② 朝食前に冷たい水や牛乳を飲んで腸管への刺激を与えることは避ける。
- ③ 昼食は1日のなかで最も胃・結腸反射を促すことから、必ず摂取する。
- ④ 食物繊維を十分に摂取する。

- a ①, ③ b ②, ④ c ②, ③ d ①, ④ e ③, ④

7 スポーツ栄養についての記述である。正しいものの組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。 キ

- ① トレーニング前に間食をとる場合は、脂肪を多く含んだ食品を選ぶ。
- ② 練習量の増加によりエネルギー摂取量を確保する場合は、糖分と脂肪分の多い物のみを増やす。
- ③ 減量が必要な場合は、トレーニング状況と合わせた食事計画を立て、急速な減量は可能な限り避ける。
- ④ 基本的には、どの種目のスポーツも水分補給を心がける。

a ①, ③ b ②, ④ c ③, ④ d ①, ④ e ②, ③

8 次の文は、炭水化物の消化に関する記述である。(①) に該当する語句を、下の a～d から一つ選びなさい。 ク

人が摂取する炭水化物のうち、消化・吸収できるのは、主にでんぷんやその分解物のデキストリン、(①) や乳糖・麦芽糖などの二糖類、単糖類である。

a ショ糖 b 果糖 c ブドウ糖 d ガラクトース

9 ビタミンに関する記述である。正しいものの組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。 ケ

- ① ビタミンは水溶性ビタミンと脂溶性ビタミンに分けられる。
- ② ビタミンAはカルシウムとりんの代謝にかかわっている。
- ③ ビタミンEは血液の凝固にかかわっている。
- ④ ビタミンB₁は体内の糖質の代謝にかかわっている。

a ①, ③ b ②, ④ c ③, ④ d ①, ④ e ②, ③

- 10 次の文は、体格指数に関する記述である。(①) ・ (②) に該当する語句の正しい組み合わせを、下の a ～ e から一つ選びなさい。

体格指数のBMIとは、 $[(①)] \div [(②)]^2$ で算出された数値であり、肥満の判定に使われている。

- (①) (②)
- a 身長cm 体重g
 - b 身長m 体重kg
 - c 体重kg 身長m
 - d 身長cm 体重kg
 - e 体重g 身長m

第4問 食に関する指導について、次の1～9の問いに答えなさい。

- 1 文部科学省の発行している食生活学習教材（小学校高学年用）についての記述である。誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。 ア

- a 郷土の食文化を学習できる内容になっている。
- b 学校給食から食事の組み合わせを学べる内容になっている。
- c チェックカードで自分の食生活を振り返る内容になっている。
- d 朝食の大切さを学べる内容になっている。
- e ファーストフード店やコンビニエンスストアの利用の仕方が学べる内容になっている。

- 2 次の文は、食料自給率に関する記述である。(①) ・ (②) に該当する語句の正しい組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 イ

2002年の主要国の供給熱量総合自給率によると (①) は230%で最も高く、日本は (②) で最も低い結果となっている。

- | | (①) | (②) |
|---|---------|-------|
| a | アメリカ | 20% |
| b | ドイツ | 70% |
| c | カナダ | 30% |
| d | オーストラリア | 40% |
| e | イタリア | 60% |

- 3 地産地消に関する記述である。誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。 ウ

- a 生産者と消費者の交流活動等の取組が行われている。
- b 地産地消とは地域生産地域消費の略称である。
- c 生産者は消費者の顔が見えるので、安全な生産をしようと心がける。
- d 直売所や朝市での新鮮な地域産物の販売は対象とならない。

- 4 次の文は、食生活と環境汚染に関する記述である。(①) ・ (②) に該当する語句の正しい組み合わせを、下の a ～ e から一つ選びなさい。 エ

豊かな食生活は長寿をもたらしたが、一方では、環境汚染が問題となっている。ごみの増加は、ごみ処理場の不足や (①) による (②) 発生など大きな社会問題となっている。

(①) (②)

- | | |
|------|--------|
| a 投棄 | ダイオキシン |
| b 輸送 | メタンガス |
| c 焼却 | ダイオキシン |
| d 埋設 | フロンガス |
| e 堆肥 | ダイオキシン |

- 5 次の文は、小学校学習指導要領解説特別活動編（平成11年5月文部省）における学校給食についての記述である。(①) に該当する語句を、下の a ～ e から一つ選びなさい。 オ

学校給食に関する内容については、昼の給食の時間を中心に指導することになるが、学級活動の時間でも取り上げて (①) に指導することが大切である。

- a 実践的 b 積極的 c 計画的 d 人為的 e 長期的

- 6 食に関する指導の進め方についての記述である。誤っているものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。 カ

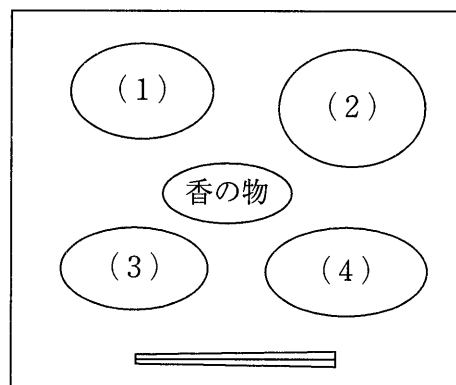
- a 食に関する指導は、意図的に学校給食を教材として活用する。
- b 食に関する指導と関連教科等を体系付ける。
- c 食に関する指導は、学校教育活動全体を通じて総合的に推進する。
- d 食に関する指導は、目標の達成に向け、継続性に配慮する。
- e 食に関する指導は、栄養教諭が専属で行う。

- 7 次の文は、「食に関する指導の手引」（平成19年3月 文部科学省）の中の食育の推進についての記述である。（ ① ） ・ （ ② ）に該当する語句の正しい組み合わせを，下のa～eから一つ選びなさい。 キ

学校において食育を進めるに当たっては，広く家庭や（ ① ）との連携を図りつつ食に関する指導を行うことが必要であるとともに，家庭や（ ① ）においても食育に対する理解が進み，（ ② ）に対する食育の取組が行われるよう，学校からの啓発等の働きかけを行っていくことが重要です。

- | | （ ① ） | （ ② ） |
|---|-------|-------|
| a | 学校 | 地域社会 |
| b | 学校 | 児童生徒 |
| c | 学校 | 保護者 |
| d | 地域社会 | 児童生徒 |
| e | 地域社会 | 保護者 |

- 8 次の図は，日本料理の基本的な配膳図である。正しいものを，下のa～eから一つ選びなさい。 ク



- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|
| a | (1) 主菜 | (2) 副菜 | (3) 汁物 | (4) 主食 |
| b | (1) 副菜 | (2) 主菜 | (3) 主食 | (4) 汁物 |
| c | (1) 主食 | (2) 主菜 | (3) 副菜 | (4) 汁物 |
| d | (1) 主菜 | (2) 汁物 | (3) 主食 | (4) 副菜 |
| e | (1) 主食 | (2) 副菜 | (3) 主菜 | (4) 汁物 |

9 箸の使い方についての記述である。誤っているものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。 ケ

- a 正しい箸の使い方は、まず鉛筆のように箸を1本持ち、もう1本の箸を親指のつけ根と薬指の先ではさむ。
- b 正しい箸の持ち方は、2本同時に動かすのではなく、上側の箸だけを動かして使う。
- c 使いやすい箸の長さは、自分の手首から中指の先までの長さの1.8倍といわれている。
- d 悪い箸の使い方には、箸を宙に浮かせて、あれこれ迷う「迷い箸」がある。
- e 悪い箸の使い方には、箸の先から、つまんだ食べ物の汁をたらしながら口に運ぶ「涙箸」がある。

小学校 栄養教諭 中学校 栄養教諭

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]